

【樹木・草花の部屋】

ヤブラン（クサスギカズラ科スズラン亜科ヤブラン属 *Liriope muscari*）

和名；ヤブラン **別名**；リリオペ **英名**；
クサスギカズラ目 宿根草

原産地；東アジア
花言葉；忍耐、謙遜
花の色；紫



← 写真-1 ヤブラン

撮影日：2004年9月11日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者；Mさん

我が家では人工池の傍に園芸品種の「斑入りヤブラン(葉に沿ってクリーム色の縁取りが入る)」を植えています。変色した下葉を取り除いくと、スッキリとした雰囲気を保つことができます。新芽(新葉)は淡い緑で、優しさを感じます。斑入り種なので、花が無い時でも楽しむことができます。葉先が水面に着くと中の魚(金魚と近所の川から取込んだフナ?が時々、突っついて楽しんで?いる様子が窺えます。

<ちょっと一言>

ヤブランは日本を含む東アジアに生育する多年草で冬でも葉が枯れずに青々としている常緑性の植物。

ヤブランは名前が示すとおり樹木の下などの薄暗い、いわゆる「ヤブ(藪)」に自生。葉は、光沢があり地際から立ち上がるようにたくさん付けます。生育は旺盛で日本の気候にマッチし、耐陰性も非常に強く、古くから庭園の下草として利用されてきたようです。花後は紫色の実をつけます。